

「プレスリリース訂正のお知らせ」

2024年5月14日（火）10時に配信したプレスリリースの内容に一部誤りがございました。訂正内容をお知らせするとともに、関係者各位の皆様には深くお詫び申し上げます。

「対象プレスリリース」

2024年イプソスグローバル「幸福感調査レポート」発表  
「幸せである」と感じている日本人13年間で13%減  
世代別では「ベビーブーマー世代」が最多、最下位は「X世代」

「訂正箇所および内容」

●1 ページ目本文2行目、4行目

世界最大規模の世論調査会社イプソス株式会社（日本オフィス所在地：東京都港区、代表取締役：内田俊一）は、日本を含む世界30カ国<sup>①</sup>24,269人を対象に、2024年イプソスグローバル「幸福感調査」を実施しました。その結果、「幸せである」と回答した日本人は57%であり、2011年の調査から13年間で13ポイント減少していることがわかりました。グローバル比較では、調査対象国30カ国中<sup>②</sup>27番目の低さです。また、世代別では、「幸せである」と回答した人は、「ベビーブーマー世代」が最多で、「X世代」が最下位という結果になりました。

- ①（誤）24,269人 ⇒（正）23,269人
- ②（誤）27番目の低さ ⇒（正）28番目の低さ

●2 ページ目2行目

【調査結果】

「幸せである」と感じている日本人は13年間で13ポイント減少し、30カ国中27番目の低さ（グラフ①、グラフ②）

（誤）27番目の低さ ⇒（正）28番目の低さ

●4 ページ目【2024 イプソスグローバル「幸福感調査レポート」（日本語）】URL

（誤）<https://www.ipsos.com/sites/default/files/ct/news/documents/2024-05/ipsos-happinessindex2024-ja.pdf>

（正）<https://www.ipsos.com/sites/default/files/ct/news/documents/2024-05/ipsos-happinessindex2024-ja-jp.pdf>

訂正済みのプレスリリースは[こちら](#)からご参照ください。